

# 福豊川に魚道をつくる会

設立：H26.10  
所在地：美幌町

## 団体の概要

「福豊川に魚道をつくる会」は、美幌町福住・豊富地区の子どもたちが、豊かな地域の川で、これからも遊び続けられることを目的に設立されました。

会員の調査で、当地区を流れる福豊川流域には、10基の落差工が存在し、魚を含む水生生物の移動が困難な状況にあることが判明しました。

そのため、住民参加による手作り魚道の設置に取り組みました。

河川の本来の姿を取り戻し、多くの生物が暮らせる福豊川流域を次世代に引き継ぐため、今後も、魚道の維持管理を行うなど、活動が続きます。

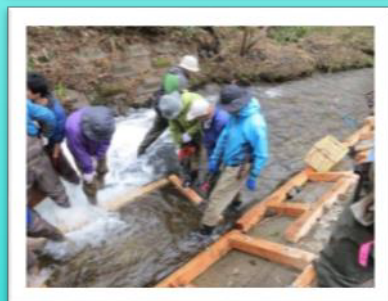


## 団体の取組

### ○手作り魚道の設置

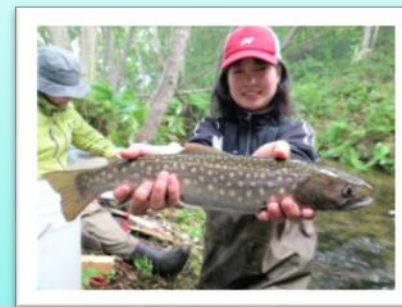
魚道の専門家の協力を得て、落差工の測量を行い設計図を作成。骨組みにはカラマツ材を使用し、その中に石を詰めて、1mの落差を解消しました。

平成27年10月24日に実施した魚道づくりには、会員や地域の住民、大学生など24名もの方が参加し、魚道が完成しました。



魚道の効果を検証するため落差工の上流と下流で魚類の調査が行なわれました。

魚道設置前は下流のみでアメマスが確認され、魚道の設置によって、今後、上流にもアメマスが確認されることが期待されます。



また、魚道作りや調査によって得られた成果は、地元の美幌博物館において、紹介されました。

